

「目からうるこでパウロに」

使徒の働き 9章1-22節

1

さて、サウロはなおも主の弟子たちを脅かして殺害しようと息巻き、大祭司のところに行って、ダマスコの諸会堂宛ての手紙を求めた。それは、この道の者であれば男でも女も見つけ出し、縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。ところが、サウロが道を進んでダマスコの近くまで来たとき、突然、天からの光が彼の周りを照らした。彼は地に倒れて、自分に語りかける声を聞いた。「サウロ、サウロ、なぜわたしを迫害するのか。」彼が「主よ、あなたはどなたですか」と言うと、答えがあった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。立ち上がって、町に入りなさい。そうすれば、あなたがしなければならないことが告げられる。」使徒9:1-6

2

同行していた人たちは、声は聞こえてもだれも見えないので、ものも言えずに立っていた。サウロは地面から立ち上がった。しかし、目を開けていたものの、何も見えなかった。それで人々は彼の手を引いて、ダマスコに連れて行った。彼は三日間、目が見えず、食べることも飲むこともしなかった。さて、ダマスコにアナニアという名の弟子がいた。主が幻の中で「アナニアよ」と言われたので、彼は「主よ、ここにおります」と答えた。すると、主はこう言われた。「立って、『まっすぐ』と呼ばれる通りに行き、ユダの家にいるサウロという名のタルソ人を訪ねなさい。彼はそこで祈っています。彼は幻の中で、アナニアという名の人が入って来て、自分の上に手を置き、再び見えるようにしてくれるのを見たのです。」9:7-12

3

しかし、アナニアは答えた。「主よ。私は多くの人たちから、この人がエルサレムで、あなたの聖徒たちにごんなにひどいことをしたかを聞きました。彼はここでも、あなたの名を呼ぶ者たちをみな捕縛する権限を祭司長たちから与えられています。」しかし、主はアナニアに言われた。「行きなさい。あの人はわたしの名を、異邦人、王たち、イスラエルの子らの前に運ぶ、わたしの選びの器です。彼がわたしの名のためにごんなに苦しまなければならないかを、わたしは彼に示します。」そこでアナニアは出かけて行って、その家に入り、サウロの上に手を置いて言った。「兄弟サウロ。あなたが来る途中であなたに現れた主イエスが、私を遣わされました。あなたが再び見えるようになり、聖霊に満たされるためです。」9:13-17

4

するとただちに、サウロの目から鱗のような物が落ちて、目が見えるようになった。そこで、彼は立ち上がってバプテスマを受け、食事をして元気になった。サウロは数日の間、ダマスコの弟子たちとともにいて、ただちに諸会堂で、「この方こそ神の子です」とイエスのことを宣べ伝え始めた。これを聞いた人々はみな驚いて言った。「この人はエルサレムで、この名を呼ぶ人たちを滅ぼした者ではないか。ここへやって来たのも、彼らを縛って祭司長たちのところへ引いて行くためではなかったか。」しかし、サウロはますます力を増し、イエスがキリストであることを証明して、ダマスコに住むユダヤ人たちをうろたえさせた。9:18-22

5

教会破壊者サウロ

- サウロは、ステパノを殺すことに賛成していた。その日エルサレムの教会に対する激しい迫害が起こり、使徒たち以外はみな、ユダヤとサマリアの諸地方に散らされた。...、サウロは家から家に押し入って、教会を荒らし、男も女も引きずり出して、牢に入れた。散らされた人たちは、みことばの福音を伝えながら巡り歩いた使徒8:1-4
- さて、サウロはなおも主の弟子たちを脅かして殺害しようと息巻き、大祭司のところに行って、ダマスコの諸会堂宛ての手紙を求めた。それは、この道の者であれば男でも女も見つけ出し、縛り上げてエルサレムに引いて来るためであった。使徒9:1-2

6

教会宣教師パウロ

- 熱心に間違っていたパウロ
- 私は、彼ら(ユダヤ人たちが)神に対して熱心であることを証しますが、その熱心は知識に基づくものではありません。ローマ10:2
- イエスの弟子たちを捕まえようとしていたパウロが、イエス様に捕まった。
- イエス様の十字架の愛と復活の真理に。
- パウロのメッセージと原動力。2コリント5:14

7

キリストは生きておられる

- キリスト教は、宗教ではない？キリストご自身！生きておられるイエス様との生きた関係。
- とげのついた棒を蹴ることはあなたには痛いことだ。マタイ11:28-30
- 「わたしは、あなたが迫害しているイエスだ。」
- 「見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」マタイ28:20
- あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。1ペテロ5:7

8

パウロの悔い改め

- 悔い改め＝自分の間違った考え、思い込みを改める。考えを変える。
- 「イエスは神を汚す者(冒涇者)」から、「イエスは神(の子)、キリスト」に変わった。
- 「なぜなら私は、あなたがたの間で、イエス・キリスト、しかも十字架につけられたキリストのほかには、何も知るまいと決心していたからです。」1コリント2:2

9

パウロの悔い改め

私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと、また、ケファに現れ、それから十二弟子に現れたことです。、、、そして最後に、月足らずで生まれた者のような私にも現れてくださいました、、、神の教会を迫害したのですから、使徒と呼ばれるに値しない者です。ところが、神の恵みによって、私は今の私になりました。そして、私に対するこの神の恵みは無駄にはならず、私はほかのすべての使徒たちよりも多く働きました。働いたのは私ではなく、私とともにあった神の恵みなのですが。1コリント15:3-10

10

使徒パウロ

- パウロは、ステパノの教会へのプレゼント？
- イエス様からのプレゼント。
- 神は人を用いられる。ステパノ、アナニヤ、バルナバ
- 神は破壊者パウロ、パロ、ローマ、サタンさえも用いることが出来る。ローマ8:28
- 私たちのことも！私たちも選ばれた器！
- しかし、あなたがたは選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神のものとして選ばれた民です。それは、あなたがたを闇の中から、ご自分の驚くべき光の中に召してくださいました方の栄誉を、あなたがたが告げ知らせるためです。1ペテロ2:9

11

使徒パウロ

私たちは自分自身を宣べ伝えているのではなく、主なるイエス・キリストを宣べ伝えています。私たち自身は、イエスのためにあなたがたに仕えるしもべなのです。「闇の中から光が輝き出よ」と言われた神が、キリストの御顔にある神の栄光を知る知識を輝かせるために、私たちの心を照らしてくださいましたのです。私たちは、この宝を土の器の中に入れてあります。それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものではないことが明らかになるためです。2コリント4:5-7

12

欠けだらけの土の器



13

パウロから学べること

- 思い込みの恐ろしさ。悔い改めは思い込みからの解放
- パウロを変えた主は私たちをも変えることが出来る。
- パウロを用いた主は私たちをも用いることが出来る。神は人を用いる。教会は人。
- キリスト教はキリスト！生きておられるイエス様との生きた関係

14